

## 目次

序章	1
はじめに	2
1 戦後沖縄史における日本復帰、国際政治学における沖縄返還	2
(1)戦後沖縄史における「日本復帰」	
(2)国際政治学における「沖縄返還」	
2 分析枠組み、資料および本論の構成	4
(1)分析枠組み	
(2)資料	
(3)本論の構成	
3 ナショナリズム理論研究におけるネイションの展望と規範性	8
(1)国際政治学におけるナショナリズム理論研究	
(2)歴史学・社会学におけるナショナリズム理論研究	
(3)政治哲学におけるナショナリズム理論研究	
<b>第1部 日本復帰</b>	
第1章 屋良朝苗の日本復帰運動の原点—1953年の全国行脚—	19
はじめに	20
1 屋良朝苗の足跡	21
2 全国行脚の背景と概要	22
(1)背景	
(2)概要	
3 復帰の論理	26
(1)日教組教研集会でのスピーチ	
(2)衆議院文部委員会での証言	
(3)紙上座談会	
4 屋良による沖縄および日本への認識	28
(1)日本の農業への評価	
(2)植民地としての沖縄	
5 屋良の民族認識	30
おわりに	31
第2章 日本復帰の論理—民族・平和・国家・天皇—	37
はじめに	38
1 民族と平和	39

(1)民族が意味するもの	
(2)平和への姿勢	
2 復帰と米軍基地をめぐる議論	42
(1)沖縄自民党との議論	
(2)沖縄人民党との議論	
3 国家の責任—「母乳論」	49
(1)母子のメタファー	
(2)財政支出を巡る日本—沖縄間交渉	
4 天皇への思慕	52
(1)天皇来沖への評価	
(2)『屋良日誌』に見る天皇への思慕	
おわりに	55
<b>第3章 日本・沖縄間の「本土並み」復帰を巡る交渉過程</b>	<b>61</b>
はじめに	62
1 下田発言と2・4ゼネスト（第1回～第4回会談）	64
(1)第1回会談	
(2)第2回会談	
(3)第3回会談	
(4)第4回会談	
2 「本土並み」を巡る議論（第5回～第6回）	66
(1)第5回会談	
(2)第6回会談	
3 佐藤訪米前後（第7回～第8回会談）	71
(1)第7回会談	
(2)第8回会談	
おわりに	74
<b>第2部 反復帰</b>	
<b>第4章 反復帰論の淵源—1950年代の『琉大文学』を中心に—</b>	<b>81</b>
はじめに	82
1 反復帰論の概要	83
(1)新川明による反復帰論	
(2)『琉大文学』に関する先行研究	
2 沖縄民族意識の目覚め	86
(1)琉球大学入学まで	

(2)6号における転換と沖縄民族意識	
<b>3 沖縄における日本の文学論争の受容</b>	<b>88</b>
(1)社会主義リアリズムの影響	
(2)国民文学論の影響	
(3)日本の文学論争の受容	
<b>4 先輩世代に対する抵抗心</b>	<b>92</b>
(1)痛烈な批判	
(2)批判構図の類似	
おわりに	93
<b>第5章 反復帰論の構造と特質</b>	<b>97</b>
はじめに	98
<b>1 反復帰論にとっての日本復帰</b>	<b>99</b>
(1)日本復帰までの経緯	
(2)復帰への批判	
<b>2 反復帰論者が想像する沖縄</b>	<b>102</b>
(1)最小単位	
(2)規範	
<b>3 反復帰論者にとっての抵抗対象</b>	<b>107</b>
(1)新川明にとっての抵抗対象	
(2)岡本恵徳にとっての抵抗対象	
(3)川満信一にとっての抵抗対象	
おわりに	110
<b>第6章 反復帰論における日本側知識人の影響—ヤポネシアとアナキズム—</b>	<b>115</b>
はじめに	116
<b>1 沖縄独立論との差異</b>	<b>117</b>
<b>2 ヤポネシア論とは</b>	<b>119</b>
(1)ヤポネシア論の意図	
(2)ヤポネシア論の展開と批判	
<b>3 反復帰論へのヤポネシア論の影響</b>	<b>122</b>
(1)反復帰論におけるヤポネシア論	
(2)ヤポネシア論における国家論	
<b>4 反復帰論とアナキズム</b>	<b>124</b>
(1)アナキズムの導入	
(2)1960年代のアナキズム論	

おわりに ヤポネシア論とアジア、反復帰論とアジア	126
終章	131
1 屋良朝苗と新川明の対話	132
2 結論	136
(1)共通点と相違点	
(2)戦後沖縄政治思想の腑分け	
3 今後の課題	141
年表	145
初出論文一覧	149
参考文献一覧	151
資料『屋良朝苗日誌』	161

## 凡 例

本論文で資料を引用する際には原則として旧字体は新字体に直した。また、引用者による注は〔〕（きっこう括弧）で表した。なお、『屋良朝苗日誌』については読みやすさを考慮して、かな混じりの熟語は漢字に、一部の漢数字は算用数字にし、適宜句読点を補っている。